

3

^ひ ^{ゆうがた} ^{いちろう} ^{いえ} ^{とど}
ある日の夕方、一郎の家に、おかしなハガキが届きました。

『いちろうさま ごきげんよろしいようで けっこうです
あした めんどうなさいばんをしますから おいでください
とびどうぐもたないで おいでください やまねこより』

^{いちろう} ^{ぶん}
一郎は、このヘンテコな文のハガキが、うれしくて
たまりませんでした。

^{よるふとん} ^{はい} ^{やまねこ} ^{かお} ^{めんどう}
夜布団に入ってから、山猫のこまった顔や、その面倒だと
^{さいばん} ^{ようす} ^{そうぞう} ^{ねつ}
いう裁判の様子などを想像して、なかなか寝付けませんでした。



5

よくあさ いちろう め さ そと あか
翌朝、一郎が目を覚ますと、外はもうすっかり明るくなって
いました。

いちろう いそ あさ た ひとり たにがわ そ こみち
一郎は急いで朝ごはんを食べ、一人で、谷川に沿った小道を、
かわかみ ほう のぼ
川上の方へと登って行きました。

す とお かぜ ふ き み お
透き通った風が吹くと、くりの木がばらばらと実を落としまし
た。

いちろう き たず
一郎はくりの木に尋ねました。

き き やまねこ とお
「くりの木、くりの木、山猫がここを通らなかったかい？」

やまねこ け さはや ばしゃ ひがし ほう と
「山猫なら、今朝早く、馬車で東の方へ飛んで行きましたよ」

ひがし ほう き
「東なら、ぼくのいく方だね。ありがとう、くりの木よ」

き だま み お
くりの木は、黙って実をばらばらと落としました。



3 3

One early evening, Ichiro received a strange postcard.

"Dear Ichiro, I'm glad you are doing well. Tomorrow, I'll be holding a troublesome trial, so please come. Please come without weapons. From Wildcat"

Ichiro was delighted to have received this bizarre postcard.

Even after going to bed, Ichiro couldn't fall asleep for a while, constantly picturing Wildcat's troubled face and thinking about how tomorrow's bothersome trial will proceed.



35

The next morning, when Ichiro woke up, it was already light outside.

Ichiro finished his breakfast in a rush and went alone on a path going along a mountain stream.

As the clear wind blew, a chestnut tree dropped its chestnuts to the ground.

Ichiro asked the chestnut tree a question.

"Hey chestnut tree, have you seen Wildcat go on this path?"

"Ah, yes. Early this morning, he went past here in a carriage, heading east."

"East? That's the way I'm going right now. Thank you very much, chestnut tree."

The tree quietly dropped its chestnuts to the ground.

